

「スイッチ操作でポッチャボールを投げよう」（保健体育）

【ねらい】

肢体不自由があり道具の操作等に困難のある生徒が、運動会の競技で自分の得意な上肢の動きを使った見せ場にするすることで、本人の意欲を高めたり、自分の動きで機械が操作できることを感じたりすることができる。

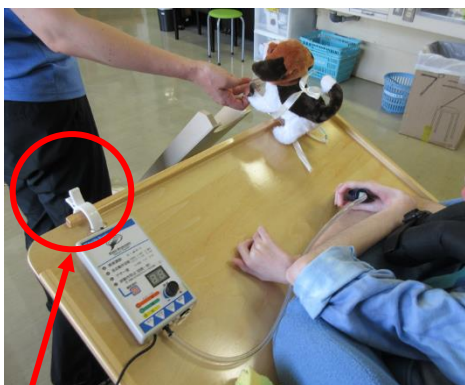
【内 容】

○準備するもの

- ・ピエゾスイッチ ・ピエゾオプション（空気圧の部分につけるもの） ・マビー 1本
- ・iPad ・iPad タッチャー ・ぬいぐるみ（単3電池で動くもの）・大きめのクリップ 1個

○手順

- ①ピエゾスイッチをiPad タッチャーとつなぎ、iPad の「タッチ&びーぷ」を使用して、ぬいぐるみを動かす。※マビーの接続を「タッチ&びーぷ」内でONにしておく。
- ②ぬいぐるみが動くことで、ポッチャボールを投げることができる。



〈工夫した点〉

- ・座位保持車椅子での姿勢がティルトをかけた斜めの角度のため、ピエゾスイッチが滑らないように、机に大きめのクリップで固定した。

【成 果】

- ・子どものできることを活かした運動会の見せ場を作ることができた。
- ・「手で握る」という自分の操作でぬいぐるみが動き、ポッチャボールを離すことを体験できたことで、操作することへの意欲を高めることができた。
- ・早めにマビーとiPadの接続をしておくこと、使用時に接続が切れてしまうことがあったので、その都度確認することが必要である。